

広報 Public relations of mikawa town

みかわ

令和8年
2026 7 No.833
July

Contents

- ▶「孤育て」をなくして、関わり合う「子育て」へ
- ▶国保・後期高齢・介護保険のお知らせ
- ▶子ども広場くみかわ保育園・幼稚園
- ▶まちかど写真館
- ▶菜の花写真コンテスト

三川町LINE
公式アカウント

友だち追加は
こちらから



ID:@mikawa-town

あふれる笑顔 みんなが住みやすいまち ハートフルタウン みかわ

鳴らして、触って、時にはパクツ!!

野菜のマラカスで遊んでいます

親子リトミック教室（子育て支援センター）



「孤育て」をなくして、 関わり合う「子育て」へ



ひとりで抱え込まないで

時代とともにライフスタイルや地域のあり方が変化し、子育てを取り巻く環境も移り変わってきました。

核家族化が進み、近所付き合いや多世代との関わりが減少した現代。周囲に頼れる人が少ない中、家庭内だけで懸命に育児に向き合い、「ひとりで抱え込む子育て（孤育て）」に直面する方も増えています。

こども家庭庁が実施した実態調査によると、乳幼児を育てる保護者のうち、約6割が育児に「負担」を感じ、約3割が「孤立している」「孤独だ」と感じたことがあると回答しており、子育ての戸惑いや不安を家庭の中だけで解消することは、どうしても難しい現状が見えてきます。



「いつでも誰かに頼っていいんだ」と、子育て世代の皆さんが心から安心できる環境づくり

子どもたちの健やかな成長は、家族だけでなく、地域全体で温かく見守り、育んでいくものです。日々の小さな戸惑いや不安をひとりで抱え込まず、いつでも「助けて」と言えること。そして周囲もまた、その声にそつと手を差し伸べ、共に寄り添い合いながら歩んでいく。それこそが、あるべき地域の姿ではないでしょうか。

町では、親子の孤立を防ぎ、地域との関わり合いを結ぶための「居場所」や「つながり」の場を大切にしています。

今月は、そんな「ひとりじゃない子育て」を形にする、関わり合いの現場取材しました。日々の育児にそつと安心を添えてくれる、町内のさまざまな取り組みをご紹介します。



音に合わせて、心もはずむ！
笑顔とやさしさがあふれる、

親子の音楽広場



ピアノのリズムに合わせて、保護者の抱っこでゆらゆら揺れたり、親子で一緒に手を叩いてみたり。

会場に一步足を踏み入れると、子どもたちの笑い声と、それを見守る大人たちの優しい眼差しに包まれます。

子育て支援センターが主催する親子リトミツクの会場では、音楽に触れる楽しさを体感でき、日々の家事や慌ただしさから少し離れて、我が子と一緒に思いきり楽しみ、リフレッシュできる大切な時間が流れています。

♪体を動かすたび、親子の心の距離が近づいていく

親子リトミツクでは講師が奏でる音楽に合わせて、参加した親子が一緒に体を動かします。

音楽のテンポが速くなればトコトコと駆け足になり、音が止まればピシッとポーズ。手を叩いたり、タイミングよく音を出したりしながら、心地よいリズムを全身で楽しみます。野菜のマラカスを小さな手で一生懸命に振る姿や、保護者の手を握りながらキラキラした目で次の音を待つ、子どもたちの真剣な表情が印象的です。

家の中とはまた違う我が子の新鮮な反応や、成長の瞬間をすぐそばで感じながら、親子で一緒に笑顔になりリフレッシュできる、そんな特別な時間が会場には流れています。



音楽を通して広がる、つながり

親子リトミツクは音楽を楽しむだけでなく、地域との関わり合いが自然と生まれる場でもあります。

活動の前後では、同じように子育てに励む保護者同士で、日々のちよつとした悩みや情報交換を交わす姿があちこちで見られます。「悩んでいるのは自分だけじゃない」とお互いに共感し合える時間は、張り詰めた心をふつと軽くしてくれます。

さらに、そうした保護者たちの輪にそつと寄り添う子育て支援センターのスタッフも、子どもたちの成長を一緒に喜び、気軽に相談できる身近な存在です。

家庭から一步外へ踏み出した先にある、地域の仲間やスタッフとつながる安心感。それが、日々の丁寧な子育てをそつと支えています。

子育て支援センター(三川町子育て交流施設テオトル内)

子育てに関する相談や育児に関する情報提供、子育て親子の交流の場です。

○開館時間 午前9時～正午、午後1時30分～午後5時

※土日・祝日・小学校の長期休業中は午前2回、午後2回の入れ替え制

○休館日 毎月第3水曜日、年末年始(12月29～1月3日)臨時休館あり

○一時預かり 生後6か月～小学3年生までのこどもをお預かりします。

※事前登録・申込み必要。

※年齢によって利用できる時間が異なります。

○問合せ先 子育て支援センター(子育て交流施設テオトル内) ☎64-8335



▲詳細やイベント情報については、こちらから

ほっと一息つく時間から、 心地よい地域の輪がひろがる



子どもの食事のあとは、お 母さんのほっと一息タイム

当日は、ミルクや離乳食など食事の時間からスタートしました。

子どもたちに食事をさせながら、助産師とお母さんたちが、離乳食や授乳の悩みをきっかけに自然と言葉を交わす中「いつもはこんなに食べないのに、みんなと一緒だからたくさん食べてくれた」と、その場でうれしそうに話すお母さんの姿が見られました。同じ年代の子どもたちと一緒に食事すること、いつもと違った場所で食事することで、子どもたちの食欲や新鮮な反応を引き出す良いきっかけにつながったようです。お腹がいっぱいになった子どもたち

ちの見守りは、専門スタッフや子育てサポーターの方々へとバトンタッチされ、お母さんたちの食事の時間へ。

食事をしながら、同じように子育てに励む仲間同士で日々のちよつとした悩みや情報交換を交わす姿や、スタッフやサポーターのみなさんと談笑する様子があちこちで見られました。日々の育児の慌ただしさから一時的に離れ、温かい食事を味わいながら交流を図る。一人で抱え込まずに思いを分かち合える、心強いつながりの輪が広がるひとときとなりました。



全国的に産後ケアの推進や「こども誰でも通園制度」が開始されるなど、お母さんやその家族のための時間をつくる仕組みが広がる中、町でも新たな取り組みとして産後のお母さんたちを対象に、「つながるカフェ」を5月に子育て支援センターにて開催しました。



ちいさな肌にふれて、 みんなで笑顔になれるあたたかな場所

「ベビーマッサージ」は、定員5組というアットホームな少人数制で開催されています。赤ちゃんのその日の機嫌やペースに合わせて、助産師からじっくりと丁寧な指導を受けられるのが大きな魅力です。

言葉を交わす前の赤ちゃんも、肌を通じて心を通わせるスキンシップは、親子のきずなを深める大切なコミュニケーション方法の一つです。便秘改善や夜泣きの軽減といった、赤ちゃんへの良い効果が期待できるだけでなく、我が子の肌に優しく触れることで、お母さん自身の心のリラックスや癒やしにもつながっています。



助産師だからこそ安心できる、
心強い育児アドバイス

この事業では、マッサージの実践だけでなく、助産師による育児アドバイスや、参加者同士のフリートークの時間も大切にしています。

「ミルクの量は足りている？」といった授乳の疑問や、体重の増減、夜泣きや寝かしつけ、肌の状態など、日々の成長で気になる小さな悩みも、赤ちゃんのプロである助産師にその場ですぐ相談できるのは、少人数制ならではの大きな安心感です。

【おわりに】

日々の小さな不安も、誰かと分かち合えば安心へと変えることができます。あなたを応援し、温かく迎えてくれる場所や人が、町にはたくさんあります。つらいとき、何か話したい時、いつでもこの場所を頼ってください。

みんなで育む子育てを、一緒にはじめませんか。

赤ちゃんとお母さんのためのサポートメニュー

事前
予約必要

※申込み締切り
開催日の一週間
前まで

■母乳ミルク相談会

乳房マッサージ、授乳・調乳指導、体重測定、哺乳瓶の選び方など、お母さんに合わせた個別指導を行います。

○対象 産後のお母さんと赤ちゃん(2組) ○次回開催 8月4日(火) ①9:40～ ②10:40～

■ベビービクス・お茶会

音楽のリズムに合わせて赤ちゃんとお母さんが一緒に楽しめるエクササイズです。抱っこやお母さんの身体に乗せて遊ぶなど、普段よりちょっぴりダイナミックなスキンシップが体験できます。

○対象 首が座っている生後3か月～1歳頃までの赤ちゃんとお母さん(10組)

○次回開催 8月27日(木) 10:00～11:00

■プレママ教室 ～おなかの中から始まるまるまる子育て～

出産やまるまる子育てのお話、赤ちゃんのお世話や妊娠中の栄養についてお伝えしています。お母さんだけでなく、ご夫婦、ご家族といっしょに学べる教室です。

○対象 妊娠中のお母さんとそのご家族

○次回開催 11月10日(火) 10:00～10:30

■親子ヨガ

1回あたり50分程度の赤ちゃんと一緒に楽しめるヨガです。

○対象 生後5～7か月頃から2歳頃までの赤ちゃんとお母さん(15組)

○次回開催 12月4日(金) 10:00～11:30

■ベビーマッサージ

○対象 生後1～5か月頃の赤ちゃんとお母さん

○次回開催 12月22日(火) 10:00～11:00

【申込み・問合せ】 ○母子健康包括支援センター(健康福祉課健康係内) ☎35-7033
(親子ヨガのみ) 子育て支援センター(子育て交流施設テオトル内) ☎64-8335



▲各メニュー
の詳細は
こちらから



▲メールでの
申込みは
こちらから



保険証等の更新のご案内（国民健康保険・後期高齢者医療）

現在の資格確認書・資格情報のお知らせ、限度額適用認定証、限度額適用・標準負担額減額認定証（以下「限度額認定証」）の有効期限は令和8年7月31日までです。新しい資格確認書・情報のお知らせは7月下旬に送付します。

国民健康保険 世帯主へ送付

マイナンバーカードをお持ちでない方、マイナ保険証を利用していない方は「資格確認書」を、マイナ保険証を利用している方には「資格情報のお知らせ」を送付します。

新しい資格確認書の有効期限は令和9年7月31日までですが、次の方は有効期限が異なります。

令和9年7月31日までに75歳になる方

75歳の誕生日から後期高齢者医療制度の新しい資格確認書もしくはマイナ保険証で医療を受けます。（有効期限：誕生日の前日）

令和9年7月1日までに70歳になる方

誕生月の翌月（1日生まれの方は当月）から山形県国民健康保険被保険者証兼高齢受給者証もしくはマイナ保険証で医療を受けます。（有効期限：誕生月の月末（1日生まれの方は前月末））

後期高齢者医療 本人へ送付

住民税非課税世帯および3割負担世帯※の方が、高額な外来治療を受けたときや入院をしたときは、マイナ保険証や適用区分（限度区分）を記載した資格確認書を医療機関窓口に提示すると毎月の自己負担額や入院時の食事代が軽減されます。

※ただし、所得未申告者がいる場合は非該当となります。

令和6年12月2日以降、新規の限度額認定証の発行の代わりに、適用区分（限度区分）を記載した資格確認書を発行しています。

8月以降は、7月に送付する資格確認書に適用区分（限度区分）を記載しますのでそちらを利用ください。（限度額認定証の送付は行いません）

ただし、限度額証または適用区分（限度区分）を記載した資格確認書に「区分Ⅱ」と記載され、令和7年8月から令和8年7月までの間に90日以上入院した長期入院該当の方は、入院期間確認のため申請が必要です。

保険税(料)の通知書を送付します（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険）

今年度の通知書を7月中旬に送付しますので、期限内での納付をお願いします。

区分	国民健康保険税	後期高齢者医療保険料	介護保険料
通知書名	納税通知書	年額決定通知書	
送付先	世帯主宛て	本人宛て	
納付方法	原則として1年分を7月末から翌年の3月末まで9回の納期に分けて、納付書または口座振替で納付してください。	年金から差し引く「特別徴収」と、納付書または口座振替で納める「普通徴収」の2種類があり、年金の受給額などによって納付方法が異なります。	
	世帯主が国保加入者で、国保の被保険者全員が65歳以上75歳未満の世帯で一定の条件に該当する場合は、国民健康保険税を世帯主が受給する年金から差し引く「特別徴収」となりますが、申し出により口座振替に変更することもできます。	原則「特別徴収」ですが、申し出により口座振替に変更することもできます。	年度の途中で65歳になった方や転入した方は、「特別徴収」への切替えに資格取得後6～8カ月かかります。詳しくは、通知書をご確認ください。

令和8年度の 税(料)率と 賦課限度額 ※()内は 改正前	国民健康保険税				後期高齢者医療保険料	
	医療 給付費分	後期高齢者 支援金等分	介護 納付金分	子ども・子育て 支援金分(新設)	医療 給付費分	子ども・子育て 支援金分(新設)
①所得割率 令和7年中の 所得に応じて	6.56%	2.84%	2.40%	0.29% (新設)	9.63% (9.43%)	0.25% (新設)
②均等割額 被保険者 1人につき	28,000円	11,800円	12,000円	1,300円 (新設)	52,500円 (47,600円)	1,373円 (新設)
	未就学児分は1/2の額			18歳以下は0円		
③平等割額 1世帯につき	19,200円	8,000円	6,000円	800円 (新設)		
賦課限度額 ①～③の合計	67万円 (66万円)	26万円	17万円	3万円 (新設)	85万円 (80万円)	2.1万円 (新設)

【改正点】 国民健康保険税 子ども・子育て支援金分の追加、医療給付費分の賦課限度額の変更
後期高齢者医療保険料 子ども・子育て支援金分の追加、料率(額)と賦課限度額の変更

○問合せ先 《国民健康保険・後期高齢者医療》町民課 国保納税係 ☎ 35 - 7028
《国民健康保険税》町民課 税務係 ☎ 35 - 7026
《介護保険》健康福祉課 福祉介護支援係 ☎ 35 - 1737

国民年金の免除・猶予制度について

国民年金保険料の免除・猶予制度(免除等)を利用するには申請が必要です。忘れずに手続きしてください。

免除等と未納の違い、保険料の納め忘れに注意

免除等は未納とは違い年金額の計算に含まれ、免除等の期間は年金の受給資格期間に算入されます。
ただし、保険料を全額納付した場合と比べて年金額は少なくなり、一部免除の場合、減額後の保険料を納め忘れると、未納扱いになります。

追納ができます

免除等から10年以内であれば、過去にさかのぼって追納ができます(産前産後期間の免除を除く)。
追納すると、減額となった将来の年金額が増えます。ただし、免除を受けた期間の翌年度から3年度目以降は、当時の保険料額に一定額が加算されますので、早めの追納をおすすめします。

対象となる所得額

免除等は、本人・配偶者・世帯主のそれぞれの前年所得により判定されますが、下表の基準を超えた場合でも、退職(失業)を理由とした特例免除制度により免除されることがあります。

免除等の区分	前年の所得が次の計算式で計算した金額の範囲内
全額免除・若年者納付猶予	35万円×【扶養親族等の数+1】+32万円
3/4免除	88万円+扶養親族等控除額+社会保険料控除額等
半額免除	128万円+扶養親族等控除額+社会保険料控除額等
1/4免除	168万円+扶養親族等控除額+社会保険料控除額等

※「扶養親族等控除額」「社会保険料等控除額等」は、源泉徴収票・確定申告控等をご確認ください。

◆産前産後期間の免除

下記の期間の保険料が免除され、保険料を納付したのものとして年金受給額に反映されます。

○対象者 「国民年金第1号被保険者」で出産日が平成31年2月1日以降の方

○免除期間 出産予定日または出産日の前月から4カ月間

○問合せ先 町民課 住民係 ☎ 35 - 7025、鶴岡年金事務所 ☎ 23 - 5040

子ども広場 ひろば

なかよし農園で育つもの

みかわ保育園・幼稚園より

今年も、みかわ保育園・幼稚園の敷地内にある「なかよし農園」での畑活動が始まりました。昨年度の卒園児から、植えた野菜の種類やピーマンを収穫するタイミングなどを教えてもらったり、水やり用のジョウロを譲り受けたりして大切に引き継いだ畑です。

バトンを受け取った4歳組の子どもたちは「今度は自分達の番だ!」と張り切っています。

みかわ保育園・幼稚園の畑活動は、シルバー人材センターの皆さんや地域の方々と一緒にを行っています。活動のたびに来てくださる方は、「畑の先生」として子どもたちから親しまれています。今回は、近所の方がトラクターで耕し、畝を作ってくれた畑に、子どもたちと相談して決めたジャガイモやサツマイモ、トウモロコシ、枝豆を植えました。子どもたちは種イモを受け取り、ジャガイモの芽を見つけ、「芽を上にして植えるんだよ」と教えてもらったり、枝豆とトウモロコシの種の違いに驚いたり、たくさん発見があったようです。

サツマイモの苗を植える際は、まず4歳組が地域の方から植え方を教わり、次は5歳組が4歳組に教えながら一緒に植えました。4歳組に「この穴に入れるんだよ」「こっちに向けるんだって」と優しく声をかける5歳組の表情は、とても頼もしかったです。秋になったら、またみんなでサツマイモ掘りや焼き芋づくりをする予定です。

夏野菜の苗を植えることです。カボチャ



町長コラム

「誠・心・誠・意」

誰かがを待たずに、

自分から一歩

テレビの前で一喜一憂し、寝不足に悩まされた日々が少し恋しく感じられます。この夏、日本中を熱狂させたW杯。世界の強豪を相手に、一人の選手に頼るのではなく、お互いに助け合い、カバーし合って戦うチームプレイの素晴らしさ。見ていて本当に感動しました。

テレビの前で、ただ夢中に声援を送っていました。その熱狂が落ち着いて今、振り返ってみると、こう考えることがあります。お互いに助け合って戦う姿は、単なるスポーツのドラマではなく、私たちが生きる日常のなかで、ごく当たり前に存在すべき形なのではないか、ということ。

もちろん、お互いに助け合うということは、言葉にするのは簡単で、誰もが分かっている当たり前のことかもしれません。しかし現実はどうでしょうか。環境の変化や担い手不足が進み、日々地域を支えて働く一人ひとりの負担が増え、誰もが大変な状況に置かれているように思えます。

日々の生活に追われ、自分のことで精一杯になってしまふと、私たちはつい周囲への関心が薄れてしまいがちです。そうして誰もが自分のことで手一杯になると、社会全体がどこか「誰かが助けてくれること」をただ待つような、受動的な空気に包まれてしまふのかもしれない。しかし、誰かが動いてくれるのを待つばかりでは、この厳しい状況を変えることはできません。本当の意味でお互いをカバーし合うためには、待つのではなく、まずは自分から一歩踏み出し、手を差し伸べるのが何よりも大切です。

では、日常のなかで私たちが誰かを助けるためには、一体何が必要なのでしょう。その第一歩は、お互いの立場をそのまま認め合うことだと私は思います。その上で、同じ目線でじっくりと言葉を交わす「対話」を重ね、共に手を動かす「協働」の姿勢を持つこと。地域の活動やイベントに少し参加してみたり、身近な人とほんの少し言葉交わしてみたりするだけでもいいかもしれません。「一人ひとりのその小さな一歩の積み重ね」こそが、これからの私たちの暮らしを明るく照らす、本当の繋がりになっていくはず。す。「チーム三川町」は一人ひとりが主役なのです。

やミニトマト、キュウリなどの中から友達と一緒に好きな苗を選んだのですが、なんとピーマンを誰も選ばないということに…。「ピーマンも美味しいのになあ」と先生がつぶやくと、植えないとかわいそうに思ったのが、自ら進んで植えてくれた優しい子どもたちでした。

生長が速い夏野菜はプランターに植え、保育室からいつでも見守れるテラスに置いています。子どもたちは毎日の水やりを楽しみ、花が咲いたことに気付いたりしていました。室内にも日々の様子を写した写真を貼り出し、子どもたちがより興味を持って野菜の生長をワクワクしながら見つめられるよう工夫しています。

夏野菜が収穫期を迎えると、採れたミニトマトやキュウリの本数を数えたり、給食室に報告して届けたりと、5歳組の出番がさらに増えていきます。どう数えたら分かりやすいかな?と友達同士で知恵を絞ったり、大きさを比べたりする中で、子どもたちは自然と数や量、大きさの違いなどを学んでいるようです。

給食室では、園で採れたての野菜をすぐ食べられるように調理してくれるので、子どもたちからは「キュウリ入ってる」「園のピーマンかも」と声が上がります。自分たちで育てた特別な野菜だからこそ、少し苦手なものでも「食べてみよう」という意欲につながりやすいようです。

日々の畑活動を通して、野菜が育つ不思議さに触れ、収穫の喜びを味わい、さまざまな年齢での関わりの中で思いやりの心を育むなど、子どもたちは本当にたくさん学ぶことを学び、日々たくましく成長しています。これからも農園での豊かな体験を通じて、子どもたちの心がさらに大きく育っていく姿を、温かく見守っていききたいと思います。



三河文化コーナー

俳壇

羽黒山大杉林夏わらび

嬉しさや大玉葱の出来映えて

誕生日母と姉とで夏料理

青田風一羽の鷺の白さかな

運動会パンを食ひては駆け戻る

六月の草木程良く茂りけり

庄内のひねもす植田光りけり

広報クイズ&プレゼント

今月のプレゼント

3名様

なの花温泉 田田

入浴券

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
※プレゼントを提供いただけるお店・団体を随時募集しています。

詳しくは企画調整課 ☎35-7013(3)まで。



工藤ひろし

佐藤 誠爾

曾根 啓視

庄野すみれ

土田 秀

春山 夏海

菅原たけお

問…災害時に備えて、携帯電話やスマートフォンへ「エリアメール(緊急速報メール)」が配信されるのはいつ?

「7月〇日」午後2時

○応募方法 クイズの答え、「広報みかわ」への感想や意見、氏名、住所を書いて、申込みフォームまたはファックス(66-3138)から応募ください。
※7月24日(金)締切り



6/11
(木)

人権の花運動



(押切小学校)

人権擁護委員による人権についての講話の後、児童たちは人権の大切さを再確認しながら思いを込めて花の植栽を行っていました。

6/28
(日)

アトクすまいるライブ



アトクすまいるライブ「懐かしの昭和歌謡～ポップス・ジャズにのせて～」が開催されました。ギター、ベース、サクソ、フルートの生演奏と心に響くボーカルによって名曲の数々が披露され、来場者は時折歌詞を口ずさみながら、コンサートを楽しんでいる様子でした。

6/11
(木)

クマの箱わなを寄贈いただきました



株式会社ヨロズより、クマの箱わなを寄贈いただきました。この箱わなは、同社の高い製造技術を駆使し、猟友会の意見を取り入れながら開発されたもので、強度も高く、分解して持ち運べるのが特徴です。クマの出没に備え、地域の安全を守るために有効に活用させていただきます。

まちかど写真館

6/14
(日)

春季消防演習



(県消防学校)

三川町春季消防演習が行われました。演習では、第1、第2分団による小隊訓練や第3分団による小型ポンプ操法、全体での分列行進が行われ、団員の士気の高さと結束の強さが示されました。

6/15
(月)

赤い羽根共同募金配分金事業 「こばえちゃ広場」でスマホ教室



(社会福祉センター)

三川町社会福祉協議会のお茶飲みサロン「こばえちゃ広場」で、スマホ教室が開催されました。リラックスした雰囲気の中でさまざまなデジタル相談や、会話を楽しんでいました。

歯を失う原因のほとんどは、むし歯や歯周病によるものです。予防のためには定期的な検診と正しいブラッシングが大切です。

歯周病検診が始まります

☎ 35-7010

- 問合せ先 危機管理室
- ◆運動の重点
 - 実施期間 7月21日(火)～8月20日(木)
 - 青少年の健全育成といじめ・非行及び犯罪被害防止
 - こどもと高齢者の交通事故防止・飲酒運転の撲滅
 - 海・山・川での事故防止
 - 特殊詐欺や盗難等の身近な犯罪等の防止

町からのお知らせ

町からのお知らせ

お知らせ
Information
2026 July

7



この機会に受診してみませんか。

○対象 今年度20歳・30歳・40歳・50歳・60歳・70歳になる方

○受診期間 8月1日(土)～12月31日(木)

○自己負担 1,300円

(70歳の方は無料)

※受診を希望される方は、健康課へご連絡ください。

※受診券は7月下旬送付予定

○問合せ先 健康福祉課 健康係

☎ 35-7032

食中毒に気をつけましょう!

細菌性食中毒の発生が増加する夏は、家庭で次のポイントに注意して、食中毒を予防しましょう。

◆食中毒予防のポイント

○冷蔵庫は詰めすぎない(7割程度)

○特に用便後や食事前後は手を洗う

○冷凍した食材は、冷蔵庫や電子レンジで解凍する

○調理前・後の食品は、室温で長く放置しない

○加熱は、中心まで十分に行う

○調理器具は、洗剤でよく洗う

○生の肉や魚を取り扱った後は、洗浄のほか、熱湯などで消毒する

○問合せ先 健康福祉課 健康係

☎ 35-7032

マイナンバーカード・電子証明書更新手続きのご案内

電子証明書有効期限の3か月前になりましたら、更新の手続きを忘れずに行いましょう。

※持ち物を確認の上、原則本人の手続きが必要になります。

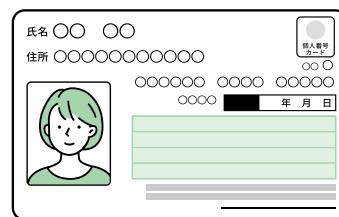
※マイナンバーカードの各種手続きは一人あたり15～20分程度かかります。

〈持ち物〉

- ・マイナンバーカード
- ・有効期限通知書(お持ちの方)
- ・設定済みの暗証番号

署名用電子証明書(英数字)
利用者証明用電子証明書(数字4桁)
住民基本台帳用(数字4桁)

※設定済みの暗証番号をお忘れの場合は窓口で再設定ができます。



イオンモール三川内
郵便局・三川町役場で
手続きが可能です。

○イオンモール三川内郵便局では本人に限り次の手続きが可能です。

可能な手続き：電子証明書の新規発行・更新、暗証番号の再設定

取扱時間：平日午前10時から午後5時まで

※代理人による手続きは役場町民課へご相談ください。

○毎月第2・第4金曜日(午後7時まで)の窓口ナイトサービスをご利用ください。

○手続き・問合せ先 町民課 住民係 ☎ 35-7025



その他のお知らせ



催 プラネタリウム一般公開

○期 日 7月26日(日)、8月1日(土)、7日(金)、9日(日)、11日(火)・祝

子ども向け(各日3回上映)、大人向け(各日2回上映)

○参加費 3歳以上100円、高校生以上200円

○申込み開始日 7月16日(木)・

○会場・申込み・問合せ先 鶴岡市中央公民館 ☎25-1050

※鶴岡市公式LINEで予約できます。詳細はこちらから▼



催 令和8年度系のこ体験教室

○日 時 7月29日(水) 午前9時～正午

○会場 県工業技術センター庄内試験場2階講堂

○内容 系のこを使ったキーホルダー、木製パズル製作

○対象 小学3～6年生の親子

○定員 10組程度(先着順)

○参加費 無料

○申込み締切り 7月17日(金)まで ※申込みはFAXにて

○申込み・問合せ先 庄内工業技術振興会化学・食品・木工技術研究会 ☎66-4227 FAX 66-4430

催 わくわくスターウォッチング

○日 時 ①8月12日(水) ②8月14日(金) 両日とも午後7時～8時30分

○会場 ①海浜自然の家(遊佐町) ②金峰少年自然の家(鶴岡市)

○内容 天体のおはなしとスライド見学、望遠鏡での天体観察

○対象 保護者同伴の家族または高校生以上の方

※高校生のみでの参加の場合は保護者の同意書が必要

○定員 各回先着40人

○参加費 無料

※荒天時・クラフト150円

○申込み期間 両日ともに当日まで
○問合せ先 山形県金峰少年自然の家 ☎24-2400

※詳細は、こちらから▼



赤十字運動にご協力をお願いします

日本赤十字社が行う国際救援活動や災害救護活動、社会福祉事業、救急法等の講習などの活動は、皆さまからご協力いただいた会費や寄附金によって支えられています。

日本赤十字社山形県支部の組織である三川町分区では、赤十字活動を推進するため、次のような活動を行っています。また、会費の納入について、お願いの通知を6月15日付で全世帯に送付していますので、ご理解とご協力をお願いします(令和7年度募集実績108万1,800円)。

・災害援護物資、見舞金等の交付

火災、風水害、地震などによる小規模災害の備えとして、県支部からの救援物資(日用品、毛布など)を備蓄し、町内での災害の際に物資や見舞金などを交付しています。

・災害救護活動用資機材の整備

自主防災会の災害訓練などに、野外炊飯器(約10升用)の貸出しを行っています。利用を希望する場合は、役場 危機管理室(☎35-7010)にお問合せください(別途プロパンガスが必要です)。

・災害義援金等の受付け

●現在受付け中の義援金等

名 称	期間終了
中東人道危機救援金	R9.3.31
バングラデシュ南部避難民救援金	
ウクライナ人道危機救援金	
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	

・活動支援

三川町赤十字奉仕団(つくしの会)の活動を支援しています。

●令和7年度の実績(三川町分区)

名 称	実績額
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	973円
令和7年青森県東方沖地震義援金	10,582円
ウクライナ人道危機救援金	50,000円
その他義援金	103,522円

○問合せ先 町民課 住民係 ☎35-7025

○日 時 9月25日(金)
午前9時10分～午後5時

○会 場 県庄内総合支庁

○申込み期間 7月27日(月)～8月5日(水)

消防設備士講習

※詳細は、こちらから



022-233-3124

○定 員 ①5人②③10人

○申込み先 お住まいの地域を担当するハローワーク

○会場・問合せ先 国立県宮城障害者職業能力開発校

国立県宮城障害者職業能力開発校 令和8年度受講生募集

○募集科 ①パソコン基礎科②職域開発科③オフィス実務科

○訓練期間 ①②10月6日(火)～令和9年3月10日(水)③11月5日(木)～令和9年3月10日(水)

○選考日 ①9月2日(水)②8月26日(水)③10月7日(水)

○募集期間 ①②7月31日(金)まで③7月31日(金)～9月16日(水)

○募集対象 ①重度視覚障害者で身体障害者手帳所持者②精神障害者保健福祉手帳所持者③身体障害者手帳所持者

広告

測量作業員急募 (アルバイト 2名 資格不要)

測量補助、伐採、杭打、その他

【勤務】8:30～17:00

【給与】9,000円/日額(通勤費別途)

【休日】土曜、日曜、祝日



☆☆☆☆☆☆ お問い合わせ☆☆☆☆☆☆
〒997-1321 三川町大字押切新田字対馬105-17
有限会社月山測量設計 ☎0235-66-5333

相酒田市無料法律相談

○申込み・問合せ先 (一社) 山形県消防設備協会
☎023-629-8477

※そのほか講習、詳細は、こちらから

○日 時 8月7日(金)
午後1時30分～4時30分

○定 員 先着6人

○申込み開始日 7月24日(金)～

○会場・申込み・問合せ先 酒田市まちづくり推進課 市民相談室
☎0234-2615726



いろり火の里 スタッフ募集

1 社員募集

なの花温泉 田田 施設管理員 (2名)

2 パート募集

和食処なな味・朝食担当者 (1名)
食事処いろり火・サービス 兼 調理補助 (3名)
田田の宿・客室清掃員 (2名)
なの花温泉 田田・清掃員 (2名)

いずれも長期で働ける方歓迎 詳しくはお問合せください

いろり火の里 株式会社みかわ振興公社 0235-66-4833 (代)
お問合せ先: 総務 高橋まで



確かな実績!! 生徒受賞歴

【全国少年新春】入選3名
【伊勢神宮奉納】神路山賞2名
【JA共済書道】銀3名、銅1名
【田川書初め】特別賞15名
【ふれあい書道】筆都大賞
【人権書道】荘内日報社賞
三川町教育委員会賞
他多数

行き アソビバックスみかわ様15:30出発→
ウエルネス学童保育クラブみかわ様→
習字教室(おけいこ1H程度)

帰り 習字教室17:00頃出発→
ウエルネス学童保育クラブみかわ様→
アソビバックスみかわ様

【全日本書初め大展覧会】

日本武道館賞

【伊勢神宮奉納書道】

毎日新聞社賞

【全国少年新春書道】

入選

【田川書初め展】

鶴岡書道会賞

他多数



学童様専用 送迎料月500円

毎週水曜日送迎付で通っていただけます。※定員になり次第受付終了。お早め!!

キャンペーン実施中

生徒募集

●みかわ会館

・水曜日 15:00～18:30
・木曜日 16:00～18:30
・土曜日 8:30～11:30/14:00～16:00

指導歴26年
安心してお任せください



大瀧しのぶ
れいこう
(雅号: 黎光)



LINE@

教室の様子をご覧いただけます!!
お問合せはLINE@からでも

大瀧習字教室
☎080-1859-0117



OTAHL.SHUJI
Instagram

見逃すな!! 浴室や脱衣所などで羽アリを見たらすぐに相談してください。

シロアリの犯行現場

羽アリは白アリ 突然 現れる

IPM Integrated Pest Management (総合的害虫駆除管理) 本社 〒998-0705 酒田市広野新田字川端70-2
有限会社 サプラス・サニー消毒 0234-92-2400 サプラス 検索



食品工場・店舗・ビル・住宅等どんな場所でもお気軽にご相談下さい。

鶴岡市
国宝羽黒山五重塔
ライトアップ

○期 日 7月18日(土)～9月23日
(水・祝)の内20日間

※雨天中止、熊出沒時中止あり

○会 場 羽黒山随神門～五重塔

○内 容 羽黒山五重塔ライトアップ、キッチンカー、限定御朱印

○費 用 高校生以上500円(協力金)

○持ち物 懐中電灯

○問合せ先 羽黒町観光協会

☎62-4727

酒田市
暑い夏を楽しむ
酒田市内海水浴場オープン

【宮海海水浴場】

○日 時 7月18日(土)～8月16日(日)

午前9時～午後5時

・MIYU MI BEACH OPENING

EVENT(海開き)&海の食FES

○日 時 7月18日(土)～20日(月・祝)

午前10時～

・2026 MIYU MI SUMMER

FESTIVAL

○期 日 8月8日(土)～11日(火・祝)

【飛島海水浴場】

○日 時 7月18日(土)～8月16日(日)

午前9時～午後5時
○問合せ先 酒田市観光物産課にぎわい創出事業係
☎0234-26-5759

庄内町
第4回庄内町の小さな旅
「余目あんちゃ豆収穫&クッキング」

○日 時 8月2日(日)

午前9時～午後1時

○会 場 余目第三まちづくりセンター

○定 員 先着10組

○費 用 大人2,500円、小学生以下500円

○持ち物 長靴、軍手、エプロン、三角巾

○問合せ・申込み先 庄内町観光協会

☎0234-42-2922

遊佐町
海水浴場開設します！

西浜・釜磯・十里塚の3カ所で海水浴場を開設します。

○日 時 7月17日(金)～8月16日(日)

※十里塚は7月18日(土)から開設

午前8時30分～午後5時

※天候などで制限がかかる場合があります。

○問合せ先 遊佐町役場企画課観光交流係

☎0234-72-5886

自転車の新制度、普段通りルールを守っていれば安心です！

自転車は、毎日の買い物や外出を支える大切なパートナーです。最近、交通ルールの新制度(青切符の導入など)が話題になり、「取り締まられるの?」と不安を感じている方もいるかもしれません。

しかし、新制度はルールを守って安全に走っている方を厳しく取り締まるものではありません。普段通り、信号や一時停止を守っていただければ大丈夫です。この機会に、いつもの運転をチェックしてみませんか?

これだけ守れば大丈夫!「安全走行チェックリスト」

- ・車道は「左側」を通行(原則) : 歩道と区別がある道路では、車道の左側を走りましょう。
※標識がある場合、13歳未満・70歳以上の方、安全上やむを得ない場合は歩道を通行できます。
- ・信号や一時停止は必ず守る : 「止まれ」の標識では必ず足を止め、左右の安全を確認しましょう。
- ・夜間はライトを点灯 : 夕方や夜間は早めにライトをつけ、周囲に自分の存在を知らせましょう。
- ・「ながら運転」は絶対にしない : スマホの操作や、傘差などの片手運転は大変危険です。
絶対にやめましょう。

お出かけの相棒に、ヘルメットを。

自転車事故で命を落とす原因の約6割が「頭部のケガ」です。現在(は)すべての人がヘルメットの着用努力義務の対象となっています。「ちょっとそこまで」の買い物でも、万が一の転倒からあなたの大切な命を守るために、ヘルメットを着用しましょう!

○問合せ先 危機管理室 ☎35-7010

あかるさかおるの スケッチブック No.23

バックナンバーは、町ホームページで
まとめて読むことができます▶



“知識のみかんを支えるもの”

もうすぐ夏休みですね。我が家の長女も中学生になり、ぐんと学習量が増えました。頑張る姿は頼もしく、成長を感じています。

学ぶことは大切です。知識を得ること、挑戦すること、できるようになる喜びは、子どもたちの未来を支える力です。親である私自身も、学びを通して子どもの可能性が広がってほしいと願っています。でも、娘を見ているとふと考えます。子どもたちは、何のために勉強しているのだろう。良い点を取るため？褒めてもらうため？期待に応えるため？

大人である私たちは、子どもの未来を思うあまり、つい目に見える成果に関心が向きがちです。何時間勉強したか、どれだけきれいにノートをまとめたか、何点取れたか…。けれど本当の学びとは、「もっと知りたい」という、自分の内側から湧き上がる好奇心から始まるものなのではないでしょうか。

先日、下の子が通う小学校で、心に残るお話を聞きました。子どもの育ちを鏡餅に例えると、下のお餅は「体」、上のお餅は「心」、そして一番上のみかんは「知識」。私たちはつい、知識というみかんを大きくすることに一生懸命になってしまします。でも、土台となる体と心が健やかでなければ、大きなみかんを支えることはできません。

十分な睡眠を取る。体を動かすこと。安心して自分の気持ちを話せること。何もない時間の中で、自分の心と向き合うこと。そんな一見「余白」のように見える時間こそ、人を育てるかけがえのない経験なのではないでしょうか。

この夏、子どもたちの「学ぶ力」だけでなく、「育つ力」にも目を向けながら見守っていきたいと思います。

【このコラムを書いている人】

すがわら きやか
菅原 明香（あかるさかおる）

ナリワイ ALLIANCE 代表

通訳ガイドやアート活動、コミュニティづくりなどを行う複業アーティスト。三川町在住、2児の母。



RUN伴山形 2026 走者募集中

詳細・申込みは、こちらから▶



認知症の人と家族、支援者、そして地域の住民がタスキをつなぎ、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指す全国的なリレーイベントです。

○会場 ①日和山公園第2駐車場～酒田市市民健康センター
②鶴岡駅～鶴岡市役所

- 日時 9月6日(日)(共通)
①午前8時～8時45分
②午前10時～10時50分
○参加費 1,000円(スポーツ保険料込み)
○申込み締切り 8月30日(日)まで
※3人以上1グループでお申込みください。
○問合せ先
RUN伴2026山形実行委員会
☎070-9014-0259(担当：小柳)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

令和8年6月届出(敬称略)

三浦とみゑ(93歳) 堤 野 齋藤 登(66歳) 竹原 田

畑山 利雄(93歳) すみよし

ご家族等から広報掲載の承諾をいただいた方のみ掲載しています。



ふるさと応援寄附金
ありがとうございました

6月分 716人

ご寄附ありがとうございました

地域福祉活動に役立ててほしいと、次の方から三川町社会福祉協議会にご寄附いただきました。
山形県退職公務員連盟鶴岡田川支部 様
めん蔵イオン三川店 様

◁ 人口の動き ▷
(令和8年6月末現在)
() 内前月比

■人口数/6,896人(減4人) 男3,409人(減2人) 女3,487人(減2人)
増減の内訳・転入16人・転出▲18人・出生4人・死亡▲4人・その他▲2人
■世帯数/2,553戸(減1戸)

菜の花写真コンテスト

Nanohana Photo Contest 「三川町観光協会」

菜の花や菜の花むすめなどを題材とした写真コンテストの入賞作品が決定しました。ここでは、特選を紹介します。



『黄色い恋人』

早坂 武弘さん
(尾花沢市)



◀観光協会
ホームページ



※入選作品は、ホームページのほか7月6日からイオンモール三川などで展示しています。

令和9年産「つや姫」生産者、「雪若丸」生産組織募集

- 募集期間 8月7日(金)～9月11日(金)(予定)
- 認定要件 水田経営面積や栽培方法、販売方法等の要件を満たす必要があります。
- 申込み先 「つや姫」：三川町産業振興課農政係(個人)またはJA(団体)
「雪若丸」：庄内総合支庁農業技術普及課
※JAまたは米穀集荷業者、生産組織などを通じて申請する場合は、各団体の締切日を確認してください。
※詳しくは「つや姫」「雪若丸」ホームページをご確認ください。
- 問合せ先 「つや姫」三川町産業振興課農政係 ☎35-7017
「雪若丸」庄内総合支庁農業技術普及課 ☎64-2103



7月24日(金) 午後2時ごろに情報伝達訓練を実施します

大雨などの災害発生時に、迅速かつ確実な情報伝達を行うための訓練を実施します。訓練当日は、携帯電話・スマートフォンへ「**エリアメール(緊急速報メール)**」が配信されます。

○日時 7月24日(金) 午後2時ごろ

○対象地域 町内全域

○配信内容 訓練用の避難情報など※当日は携帯電話が一斉に鳴動します

※実際に大雨などの災害が発生している場合、大雨や台風などの気象情報が発表されている場合、または災害の発生が予測される場合は、安全と防災対応を最優先し訓練を延期します。

※延期を決定した場合は、町のホームページ等でお知らせします。

○問合せ先 危機管理室 ☎35-7010

